

## ◆オーランド補習校卒業式 ご挨拶

2013年3月16日  
在マイアミ日本総領事  
川原 英一

補習校児童、生徒の皆さん、お早うございます。



ご父母の皆様、おめでとうございます。

お子様方を毎週土曜に元気に補習校に通わせるため、ご父母の皆様がいろいろご苦勞をされたことと存じます。お子様と一緒に最初は慣れない生活でお困りになったことも多かったことと思います。

そうしたなかで、今日の卒業式をお迎えされ、いろいろな思いがあろうことと存じます。補習校の先生方の熱心なご指導と補習校運営にご尽力をされた役員の方々、各行事運営をサポートされた御父母様の皆様の強い思いの中で、今日、晴れて卒業の日をお迎えされました。感激もさぞかし大きいことと存じます。

オーランド補習校の児童・生徒の皆さん、おめでとう。

ちょっと大変なこともあったかも知れません。

でも、補習校でのお友達とともに教わったこと、体験したことは、皆さんがこれから生きていく上で大きな力になると思います。

### (3. 11から2年に寄せて)

さて、

あれから、2年が経ちました。

2年前の3月11日、東北地方で大きな地震と津波の大災害があり、大変に困難な時期に直面しました。すぐさま世界各国で日本支援の輪が広がりました。皆様の中でも熱心に日本支援活動をして頂いた方も多いのではないかと存じます。名誉日本総領事のハリス ローゼンさんもそのお一人です。皆様方のご厚意に改めて感謝を申し上げます。

米国政府は、3.11大災害発生後、すぐさま救援活動の為、約2万人の米国の若者を派遣して、何千、何万人という避難する方々を助け、救援物資を届け、仙台空港の整備な



どに力を尽くしてくださいました。日本との「絆」を大切に思い、行動して下さった方々への感謝の気持ちを忘れないことも大切だと思います。

また、この大変な困難な時に、被災地では、離れ離れとなった家族の安否を心配しながら、日本人同士が共に助け合い、秩序ある行動をする姿を TV 映像でみて、世界の人々は大変に感動を受けました。

こうした共に助け合い、共に困難に立ちかう、美しく強い心を、児童、生徒の皆さんにも受け継いで頂ければと願っております。

今、日本政府は、3.11を契機として、日米高校生交流のため、絆プロジェクトを実施しております。

日米それぞれ1千名の高校生交流です。

来週、福島県郡山高校の高校生グループ30名弱がマイアミに来て、昨年7月に東北地方に来てくれたウエスタン高校の皆さんとの交流活動を予定しています。また、今年は、より多くの日米の若者の交流が始まろうとしております。

以上、最近の話題から少しご紹介をさせて頂きました。

最後に、補習校の児童、生徒、ご父母の皆様、諸先生方、本日は、まことにおめでとうございます。

(了)